

●コンピュータ労働者にふさわしい賃金で、残業を無くし、健康で文化的な生活を。

●働く者が幸せになる平和なコンピュータ社会を。

# こんびゆうた

## 電算労

電算機関連労働組合協議会

〒110-0003

東京都台東区根岸3-25-6

タブレット根岸2階

T E L 03(5603)4570

F A X 03(5603)7265

URL <http://www.union-net.or.jp>

毎年夏に開催されるMIC平和フォーラム、今年は8月8日、長崎のサンプリエールを会場に開催されました。全国から120人以上のMICの仲間が集まりました。

基調講演 柳川善郎さん  
「沈黙は共謀、傍観は加担」  
「危険な『暴力』の風潮」

柳川善郎さん  
の「沈黙は共謀、傍観は加担」危険な「暴力」の風潮」と題した話がありました。柳川さんは御嵩町長時代に前町長時代からの産業廃棄物処分場建設計画に反対し、凍結しました。その後、1996年9月に自宅の盗聴事件があり、10月に暴漢に襲われ頭の骨を折るなど重傷を負いました。この事件の背景には産業廃棄物処分場問題があるとしながら、未だに犯人は捕まっています。

柳川町長（当時）は、今年4月17日に起きた長崎市の伊藤市長銃撃事

件について、「選挙中にとんでもない話だ。選挙は民主主義の原点。政治がらみだとしたら民主主義が聞いて恥ずかしいし、あつてはならないことだ。」と口調に怒りを込め、また、自分の事件と重ね合わせ、一（自分の）事件と何か通じるものがある気がして、ひとごととは思えない。徹底的に解明して欲しい。」と述べています。

柳川さんの基調講演の後、森永玲さんから「長崎市長銃撃事件の経過と波紋」と題した、基調報告がありました。

報告の後、1時間ほどのドキュメンタリー「二重被爆」山口さんに被爆体験を聞く

ドキュメンタリー「二重被爆」山口さんに被爆体験を聞く

報告の後、1時間ほどのドキュメンタリー「二重被爆」を見て、二重被爆の体験者である山口彊さんから被爆体験を聞きました。「二重被爆」というのは広島で被爆し、不幸なことにその3日後に長崎で被爆したことを言います。長崎在住の「二重被爆者」は20名、全国規模では160名

## 消えぬ銃の傷跡・核の記憶

核のない世界を！ 2007 MIC長崎フォーラム

がいると言われていますが、正確な人数は把握されていません。

山口さんは1945年当時、長崎市にある三菱重工業造船所の設計技師で、1945年5月から3ヶ月間広島に出張し、長崎へ帰る前に広島市内で被爆しました。大やけどを負いながらも同僚の佐藤さん、岩永さんと共に翌日列車で長崎に向かい、

暴力によつて民主主義が停滞することがあつてはならないし、また、暴力そのものが許されるものではありません。戦争は国家による暴力であり、どんな大儀名分を掲げても戦争は許されることではないと思います。

暴力によって民主主義が停滞することがあつてはならないし、また、暴力そのものが許されるものではありません。戦争は国家による暴力であり、どんな大儀名分を掲げても戦

争は許されることではないと思います。

暴力によって民主主義が停滞することがあつてはならないし、また、暴力そのものが許されるものではありません。戦争は国家による暴力であり、どんな大儀名分を掲げても戦争は許されることではないと思います。



(平成16年調べ)



2007年9月20日

**長崎ブオーラムに参加して  
C-COM労組副執行委員長  
松井英晃**

長崎原爆記念日の前日、平和フォーラムに参加する私たちは長崎駅にたどりついた。照りつける陽射は鋭く、一步日当りに出ると脳天に刺さるようであつた。駅から程近い会場でフォーラムは行われた。題目の「消えぬ銃の傷跡・核の記憶」のとおり内容は濃く、衝撃的なものであつた。

初めてM.I.C.嵯峨議長の挨拶で「久間ニズム」という言葉が使われた。地元長崎出身で初代防衛相久間氏が「原爆投下はしようがない」と発言し退任させられたが、何事も「しようがない」と現状追認する姿勢を皮肉を込めて一言にまとめるのはさすがマスコミと妙に感心した。



基調講演を行った柳川喜郎氏は題目に「沈黙は共謀、傍観は加担、危険な「暴力」の風潮」を掲げた。NHK解説委員を経て3期12年岐阜県御嵩町長になられた方である。この町は産廃処理場計画で大きく揺れた町であり、1996年に反対派町長であつた柳川氏の自宅が盗聴される事件が発覚し、直後に襲撃され一時意識不明の重体になる事件が起きた。回復

後この逆境をはね返し、全国初の住民投票を行い4分の3以上の反対票を得て産廃処理場計画を事実上頓挫させた。柳川氏は行政に対する金力・権力・暴力のトライアングルが御嵩町のケースであったが、近年基本的人権を侵す暴力や行政対象暴力が増加しており、それを黙認してはならないと語った。

NHKで多くの解説を行い、また数々の暴力を乗り越えて町政を引張った柳川氏の発する言葉は物静かながらも圧倒的な重みを感じた。

基調報告は「長崎市長射殺事件の経過と波紋」を長崎新聞報道部の森永玲氏が行つた。森永氏は直接現場には行かず情報を統括する責任者であつたが、前長崎市長が殺害された経過説明は非常に生々しかつた。また、この事件で行政

対象暴力の深刻化や銃器の蔓延などいくつもの課題が一気に噴き出しだが、内容的には取材側の現状報告であつた。

続いてドキュメンタリー映画「二重被爆」の上映と出演者の山口彌氏（90歳）の被爆体験を聞いた。ここでは広島・長崎の両市で被爆した方が長崎で約20名

（長崎新聞社社長もその内の一人）、全国でも約160名いることに驚いた。山口氏は「きのこ雲に広島から長崎まで追いかけられてきたんじゃないか」と思つたそうで、被爆による急性白血病や白内障を患い、5年前に脳梗塞により左半身麻痺になりながらも被爆体験を話されており、その姿勢に強く心を打たれた。

翌8月9日も強い陽射の中、長崎新聞社から原爆に関する地を回る平和散歩が行われた。一本柱鳥居、山王神社の被爆クス、旧長崎医科大正門、浦上天主堂、如己堂を経て平和公園へ向かい、爆心地公園にて原爆投下時間と同じ11時2分にサイレンが鳴り、黙祷を捧げた。写真でなく实物を見ると想像を超えた原爆投下時の爆風の凄まじさを今に伝えているのがよく分かる。説明を受けたのだが、長崎医科大では当時建物内で授業を受けていた学生がそのまま

の姿で黒焦げになっていたそうである。実際に目の前で見る物と解説で圧倒され絶句すると同時に、一瞬で焼かれて奪つた方々がどんな気持ちであつたか想像して大きな悲しみを感じた。

この2日間を通じて、大小を問わず暴力は根絶すべきであり、過去の話に耳を傾け、協力し合いながら悲しみを生まないような社会にしていくのが重要ではないかと思う。特に一度多くのかけがえのない人の命を奪う戦争は世界中からなくなることを再び願い、また私たちも再び戦争を起こさないで固く誓つた日々であり、参加した方々は強く同じ気持ちを共有出来たと思う。

電車や車の騒音がシャットアウトされるものだから、逆に“常連客”でもない我々（今回はC-COM労組の副委員長2名と私の3名で参加）が、お気楽な普段着のいでたちでソコにいることが、闖入者のようで私は一瞬違和感を覚えてしまった。

**長崎ブオーラムに参加して  
コンピュータ・ユニオン  
副委員長 西澤正典**

8月9日も強い陽射の中、長崎新聞社から原爆に関する地を回る平和散歩が行われた。一本柱鳥居、山王神社の被爆クス、旧長崎医科大正門、浦上天主堂、如己堂を経て平和公園へ向かい、爆心地公園にて原爆投下時間と同じ11時2分にサイレンが鳴り、黙祷を捧げた。写真でなく实物を見ると想像を超えた原爆投下時の爆風の凄まじさを今に伝えているのがよく分かる。説明を受けたのだが、長崎医科大では当時建物内で授業を受けていた学生がそのまま



いい涼しさとともに外を走る路面

エール。長崎駅からは路面電車が走る大通りを歩いて3分程の場所に位置するシックだが小ジャラた外観のビルであり、ビルの裏は通りを二つほど越えると長崎港である。一歩入り口のドアが開いてロビーに入ると、普段は結婚式や披露宴会場として営業しているだけの部屋にパーテイションできそう、普段

は披露宴に使うであろう広い会場に入り目に入ったのは、高い天井からぶら下がつたいくつもの大きなシャンデリア。それと既に多くの人が席について資料などをテーブルに広げてはいるものの、整然とならべられた幾十台もの3人がテーブルそれぞれを覆っている。白いテーブルカバーが、照明を受けて一層白さが引き立ち、その白さが、まさにこれから始まるフォーラムで、また新たな講演や報告が聞けるのだと、その期待が緊張感をかせると共に、その期待が緊張感に変わるように感じつつ、私は着席した。



基調講演に立った柳川さんだが、ベトナム戦争や南極・北極、北朝鮮などを取材した元NHKの解説委員であり、産廃処分場計画凍結、国や県への贈答などの官官接待廻りなどを行った岐阜県御嵩町の元町長ということだったので、きっとガタイの良いガツチリした人なんだろうと思ったが、登場したご本人はさにあらず、むしろ細身で華奢、若干神経質そうな印象の方だったので、まず驚いた。

しかし、神経質そうだという印象も、お話を伺っているうちに、「待てよ? そうじやないんじやない?」と思うようになってきた。自分は全くその気が無かつたが、

その結果が1996年に起った暴漢による襲撃事件だったわけだが、今年町長選挙に出馬せず舞台からは身を引いたとはいえ、その意思は全く衰えておらず、奇しくもMICというマスコミ関係者がメインの労働組合のメンバーを前に、いや、このような場だからこそ何度も懇願するように彼が繰り返していた言葉、「反体制で無くても良い、非体制を貫いてほしい」というその言葉は重い重い意味を持つと感じた。

去る、9月13日（木）、タブレット根岸5階会議室にて21名の参加のもと、企業組合コンピュータユニオン（以下、CCU）の第14回通常総会が開催されました。労働組合コンピュータユニオンでは1985年から労働者供給事業（以下、労供事業）を行っています。これは労働組合のみが行なうことができる事業で、コンピュータユニオンではSE・プログラマーおよびOAスタッフの供給を行っています。供給組合は事業体ではないので組合員を雇用し、社会労働保険の適用ができません。この事業主制を労働組合が確保するため、1999年12月の職安法改正で自ら派遣事業体を持つことができるようになりました。労働組合が自ら作つた派遣事業体に労働組合から供給し、派遣事業体で雇用し社会労働保険を適用します。そして、派遣事業体から従来の供給先に組合員を派遣します。この

供給・派遣の仕組みの元、派遣事業も行っています。

CCUは最初、労供事業で仕事を就きにくい（高齢者やフルタイム労働者育て中の大人など）組合員のために作られました。労働組合は事業体ではなく、労供事業しかできないため、システムの受託開発など、供給以外の事業を行なうことがあります。

しかし、現在では供給・派遣が売り上げの約9割（14期では94%、前期は86%）を占めます。第14期は供給・派遣の売り上げが増えているものの、ソフトウェアの受託開発が前期比32%しかなく、全体として1.7%の減少となりました。

システムの受託開発の他、CCUではホームページの制作、労働組合や各種団体向けの会計ソフト（パッケージ）の開発、販売、サポートを行っています。

ホームページの制作は昨年より14期は売り上げを63%も伸びました。現在はXOOPSを使ったコミュニティサイトやFLASHを用いたサイト作りが中心になつてきました。

会計ソフトは4年前に（株）きかんから開発、販売、サポートを引き継ぎました。新規の販売は少なく、既存ユーザのサポートが中心です。14期にはVista版を開発しました。今後はVista版への切換えユーザの増加が見込まれます。

根岸の里パソコン塾は10年間継続してきましたが、年々売り上げが減少し、今期は唯一の法人ユーザの利用がなくなり、今後の一般顧客の集客も見込めないため閉鎖することになりました。今後は本来の目的である組合員の技術教育での活用を図ります。



## 企業組合コンピュータユニオン 第14回通常総会開催される

## 労働者派遣事業適正運営

### 協力員会議開かれる

「労働者派遣事業所対前年比32.9%の大幅増」  
「業務請負については78%が是正指導を受ける」

去る6月21日（木）に今年度第一回目の労働者派遣事業適正運営

協力員会議が開催されました。最初に東京労働局需給調整事業の浅

野浩美部長から挨拶があり、その後、新任協力員の紹介がありまし

た。電算労も加盟する労供労組協

の事務局次長だった出版労連の堀

根秀人さんの後任として同労連の高鶴淳一さんが紹介されました。

電算労では横山南人事務局次長

が委員となっています。

労働者派遣・職業紹介事業所の許可・届出受理状況は平成19年

4月1日時点で労働者派遣14,

331事業所、職業紹介4,59

9事業所で、対前年比はそれぞれ32.9%増と22.8%増とい

う大幅な増加となっています。

指導監督について労働者派遣は1,275事業所について実施し、8

86事業所に対して是正指導を行っています。なかでも、業務請負に

対する指導監督は、前年度の約2倍となる393事業所に対して実

施し、307事業所に対して是正

指導が行われました。

情報交換では、全港湾の伊藤彰

信書記長（元労供労組協議長）が

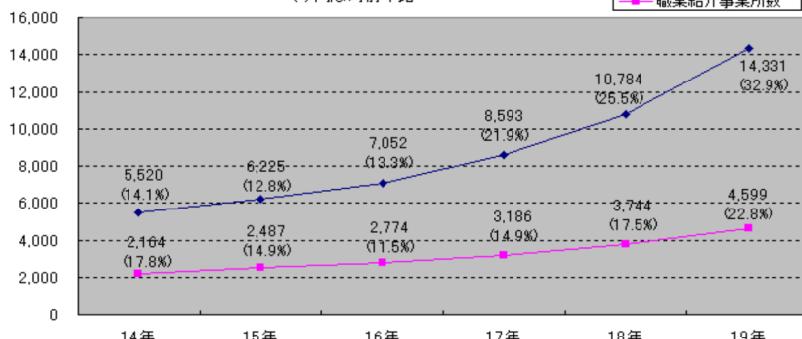
日雇派遣の派遣先に（派遣が禁止

されている）港湾労働があつたと

の指摘がありました。

許可・届出事業所数の推移(各年4月1日現在)  
( )内は対前年比

● 労働者派遣事業所数  
■ 職業紹介事業所数



## 各組合、支部の定期大会のお知らせ

ソフトウェアセクション：9月22日（土）、13:30～16:30 於～台東区民館特別会議室（9F）  
PUC分会：10月9日（火）、18:00～20:30 於～西新宿 全労済東京都本部会議室  
アルバス支部：10月19日（金）、19:00～ 於～アルバス本社2F 第6会議室

★締め切りは11月15日★

前回の応募者はなんと54人！！

まだまだ確率良く図書券が当たります♪♪  
ご応募お待ちしています！！

### クイズちがいは7つ



右と左の絵には7ヵ所のちがいがあります。どこでしょう。正解者10名の方に図書カード1,000円分をさしあげます。ご応募お待ちしています。



前回の正解：①竿を持つ手 ②手前の煙 ③女性の帽子のつば  
④犬のしっぽ ⑤男性の笠 ⑥男の子の竿⑦タモの形

当選者：長尾文乃・後藤佑輔（NCS）西川賀代・西田亮太郎・  
丸山隆弘・三浦理恵・田窪雅行（CCOM）木村敦・

伊藤久進（PUC）篠崎功（ソフ技） 敬称略

♪ご当選おめでとうございます♪

宛先：〒110-0003

台東区根岸3-25-6タブレット根岸2F

こんぴゅうた クイズ係

E-mail:quiz@union-net.or.jp

☆所属組合名と氏名を

必ず付記してくださいね！